

南陽園にて近隣の保育園との交流の様子



浴風会は2025年
創立100周年を迎えます



秋季号

令和 6 年 10 月発行
【発行者】〒168-8510
東京都杉並区高井戸西 1-12-1
社会福祉法人 浴風会
【編集者】浴風会本部事務局

浴風会 100 年の歴史を振り返って

厚生労働事務次官 伊原 和人



本年 7 月に厚生労働事務次官を拝命した伊原です。どうぞよろしくお願いいたします。

浴風会が来年 1 月をもって創立 100 年を迎えるに伺い、改めてこれまでの歴史を振り返らせていただきました。

設立の契機は関東大震災。自活困難となった高齢者の保護を目的に、日本で初めて医療部門を併設する養老院として大正 14 年にスタート。何と、今年 1 万円札に登場した渋沢栄一翁が国の内外から募った義援金を基に、内務省により創設され、初代会長は内務大臣（若槻礼次郎）が就任。その後、昭和 13 年に厚生省が設置されて以降、終戦直後まで厚生大臣が会長職を担っていたことは恥ずかしながら初めて知りました。

その後は、よく知られているように、昭和の時代には、養老事業の中核的存在として、平成以降は、普遍化した高齢者介護のセンター・オブ・センターズたらんとし、日本の高齢者医

療・福祉をずっと支えてこられました。1 世紀にわたり、高齢者を守るという原点を堅持しながら、今日まで発展されてきたことに感銘を受けました。

私が旧厚生省に入省したのが、昭和 62 年、ちょうどゴールドプラン前夜でした。私の職業人生前期は、出向した伊丹市役所における福祉公社の設立・運営、本省に戻って、介護保険の創設作業など、介護の社会化に向けて、新しい仕組みを考え、財源の担当に走り回る毎日でした。その頃、浴風会で活躍されていた大川節さんと出会い、地域連携の在り方などについて、議論をさせていただいたことは懐かしい思い出です。

早いもので、私も今年還暦を迎え、公務員生活も最終コーナーとなりました。介護保険もすっかり定着し、来年は 25 周年を迎えます。一方、高齢者介護を取り巻く状況は、2040 年に向けて、少子化の影響を受け、「担い手不足」という厳しい課題に

直面しています。また、今後、85 歳以上人口がピークを迎える中で、認知症対応が社会的課題となるほか、医療と介護の重複ニーズを有する方々への包括的なサービス提供体制を、それぞれの地域の実情に応じて、整えていかねばなりません。なかなかの難題です。

浴風会の 100 年の歴史を辿ると、先人達は、その時々々の厳しい課題に直面しても、懸命に知恵を出し、チームワークをもって、乗り越えてこられたことがわかります。こうした営みが次の世代へと継承されていく中で、1 世紀もの歴史が形作られてきました。

浴風会が、これからも、「地域と共に未来を拓く」存在として、この杉並の地のみならず、日本の高齢者医療・介護・福祉の中核的存在として、更なる歴史を刻まれていくことを心より願っております。厚生労働行政を担う私どもも、しっかりとがんばってまいります。

浴風園長に就任にして

浴風園長

赤坂 浩



7月1日付で、浴風園長を拝命致しました「赤坂」です。よろしくお願ひします。

これまで、法人本部事務局で人事部長として職員の採用や人事、給与関係に携わり、その後、浴風会ケアハウスの園長として、ご利用者が自分らしく健康で自立した生活が送れるような支援などに携わってきました。

このようなこともあり、今回の就任に際しては浴風会ケアハウス園長を兼務しています。

浴風園は法人の創立と共に設立され、法人を代表する施設です。現在の建物は、法人の創立70周年に全面改築したものです。

浴風会ケアハウスは、同じく法人の創立70周年の記念事業として、平成8年5月に浴風園の合築の施

設として開設しています。

浴風園とケアハウスでは、施設種別や対象者が異なりますが、ご利用者お一人お一人が心豊かに、自分らしく、生き甲斐を持った生活を送れることが肝要であることは今も昔も同様ですので、支援を継続してまいります。

来年1月には法人の創立100周年を迎えます。歴史と伝統、信頼関係を守り、浴風会の基本理念を踏襲し、笑顔と尊厳を持つてご利用者の声に耳を傾けつつ、新たな100年に向かって積極的に新たな課題に取り組んでまいいる所存ですので、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

当会100年の歴史を纏めた記念誌が刊行される予定です。

第二南陽園長に就任して

第二南陽園長

中澤 雄一



4月1日付で特別養護老人ホーム第二南陽園長に就任いたしました。もが手探りで、特養だけではなく、会内の事業所職員も含めて検討がされていきました。

一昨年の7月1日に本部財務部長を拝命し、本館での業務に緊張しつつ、漸く法人全体の収支状況等を俯瞰できるようになり、評議員会、理事会での会計報告も、どうにか戸惑わずに行えるようになったところでした。財務部スタッフの協力には大変感謝しています。

私の浴風会でのスタートは特別養護老人ホーム南陽園でした。まだ介護保険制度スタート前の、行政による措置制度の時代です。特養への入所は福祉事務所に申し込み、何年も待たなければなりませんでした。

平成12年の介護保険制度施行を控え、その準備も慌ただしいものでした。「措置から契約へ」何もかもが手探りで、特養だけではなく、会内の事業所職員も含めて検討がされていきました。

記録の電子化にも取り組み、慣れない手つきでキーボードに触れたものです。介護ソフトを導入した事業所はまだ少なく、結構驚かれました。

当手を振り返りながら、ああ特養に戻ってきたのだなど、正直感慨深いものがあります。

しかし、特養をめぐる環境は大きく変わっていました。記録だけではなく、例えばご利用者のベッドにセットして、身体には触れずに状態の変化をスタッフルームで知ることができる機器があります。昔を考えると本当に驚きです。

これから職員達と力を合わせ、ご利用者が安心できる「家」であり続けたいと思っています。

財務部長に就任して

本部事務局 財務部長

多胡 岳志

本年4月に病院事務局から本部事務局財務部に異動しました。

30数年前に浴風会に入職して以来、5度目の異動にして、3度目の本部事務局勤めとなります。

私の浴風会での職歴は、総務・人事事務でほぼ完結していましたが、今回財務部長という未知の業務に挑戦することとなりました。

机に座って仕事をしていると眠くなる、子供の様な人間ですので、眠気覚ましに頻繁に構内をウロウロと歩き周って、木を切ったり、看板を直したりしていますので、皆様のお散歩中に見かけたらお声がけいただき、構内の「あんなこと、こんなこと」

を教えてください。

お散歩には緑豊かな浴風会の敷地は最高ですが、豊さゆえに大雨・強風の際には木の枝葉が大量に降り積もることになります。また、近年の異常気象の加減か思いがけない倒木・落木が発生しています。雨風激しい時の外出は、可能な限りお控えください。

浴風会各施設の

敬老祝賀会の様子



第三南陽園



ケアハウス



老健くぬぎ



南陽園

第19回 職員実践研究発表会



◆最優秀賞◆

開催日：令和 6 年 4 月 24 日 (水)

会 場：認知症介護研究・研修東京センター

「認知症の人が理解しやすい環境調整の手引き マークを用いたトイレまでの移動支援」の作成 ～認知症本人の視点に立った環境調整を目指して～

認知症介護研究・研修東京センター 研究主幹 月井 直哉

認知機能の低下によって日常生活で直面する困難を軽減するために、適切にデザインされた環境を用いて補い、支援する Dementia friendly design (以下、DFD) という概念があります。つまり、DFD とは、一人の人として不自由のない生活を送る権利を護り、当たり前の生活を実現することです。

今回はこのような概念を参考に、安価で、建築構造への介入が不要で取り組みやすいマークに着目して、認知症のご本人(以下、本人)の自立した移動を支援することを目的としたマークの設置方法について学ぶことができる手引きを作成しましたので、ご紹介いたします。

(1) トイレに着目した理由

私が介護老人保健施設で勤務していた際に、担当の利用者さんがトイレの目の前で「トイレはどこ？」と叫ばれることや、時には失禁されることがありました。トイレのドアには、どこにでもある「男性と女性」が立ったマーク(標準案内用図記号(JIS Z 8210)の「お手洗」)が設置されていました。私はこの時に初めて「私たちが理解しやすいからといって、本人にとって理解しやすいとは限ら

ない」ということに気が付きました。

(2) 手引きの作成にあたり行ったこと

以下、3 点の取り組みを行いました。

① 本人と介護者を対象に、理解しやすいトイレマークの調査を行いました。その結果、本人は、見たままの形でマークを捉える傾向があることから、「文字」や「トイレの便器と人の動作の組み合わせ」が理解しやすいことが示唆されました。また、本人と介護者が考えるわかりやすいマークは異なる傾向を示しました。

② 認知症ケアの専門家 12 名を対象にヒアリングを行った結果、本人がマークを理解しやすくするための工夫として、文字を使うことが必須であることや、トイレと人の動作の組み合わせが伝わりやすいこと、マークを設置する際にはマークの便器の向きと実際の便器の向きが同じであることなどの意見があがりました。

③ ヒアリングの結果をもとに、トイレまでたどり着けない施設入所者を対象に、マークの効果検証を行いました。本人の状態をアセスメントし、本人に合ったマークの設置と明るさの環境調整を行った結果、夜間にトイレまで自立した移動ができた割合が 12.8% (46.7% → 59.5%) 向上し、「ト

イレはどこ？」と言いながら廊下を歩くことがなくなったケースがありました。

① および②の結果から環境調整を行う際には、本人の視点に立つことや直接尋ねることの重要性が示唆されました。また、③においては本人の状態をアセスメントし、本人に合った環境調整を行うことでマークの効果を示すことができたと考えました。

今回はこれらのポイントについて学ぶことができる手引きを作成しました。介護者は手引きを使った学習を行うことで、マークを有効に活用するためのヒントを得ることができると考えています。

(3) 手引きのダウンロード

筆者の研究業績が管理されたホームページ (<https://researchmap.jp/Naoya-Tsukii/works/40773058>) にて PDF を無料でダウンロードできるようにしています。よろしければご利用いただけますと幸いです。



浴風会の動き

(7月) (9月)

【本部事務局】

7月
1日 採用辞令交付 8名
10日 監査法人報告会

8月

1日 採用辞令交付 3名
9日 横浜市総合保健医療センター見学 (5名)
29日 寺尾理事長 社会福祉法人経営者大会参加

9月

2日 採用辞令交付 6名
(橋)

ご芳志

令和6年 7月から9月

多くの方々よりご芳情をいただきました。
ありがとうございます。

〈金品・物品〉

◇杉山 治久様
◇武井 敬子様

ほか、各施設にもいただいております。

浴風会ケアスクール

7月

1日 介護福祉士実務者研修21期生開講
3日 「悉皆研修・ステップ4」
(中堅Ⅰ期)
11日、18日、25日 介護福祉士実務者研修20・21期生スクーリング開講
31日 「悉皆研修・ステップ5」
(中堅Ⅱ期)

8月

1日、8日、22日、29日 介護福祉士実務者研修20・21期生スクーリング
7日 「悉皆研修・ステップ5」
(中堅Ⅱ期)
20日、27日 介護職員初任者研修23期生スクーリング開講
21日 杉並福祉事務所、実習生見学
(3名)

9月

3日、10日、17日、24日 介護職員初任者研修23期生スクーリング
5日、12日、19日 介護福祉士実務者研修20・21期生スクーリング
18日 「悉皆研修・ステップ2」
(フォローアップ研修)
30日 介護福祉士実務者研修20・21期生修了

◆令和6年度、介護の資格講座「介護職員初任者研修」(10月28日開講・月曜日コース)申込みを受け付けております。
詳細はホームページ「浴風会ケアスクールのお知らせ」からもご覧いただけます。お気軽にお問合せください。

(鈴木)

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

7月

4日 【都知事選挙不在者投票】
7日 【七夕】
短冊には思いの願いを込め、昼食に七夕そうめんを召し上がりました。

8月

7日 【納涼祭】
お昼はたこ焼き・焼き鳥・チョコバナナ等のお祭りメニューを召し上がり、午後は輪投げ・射的・綿あめ等の縁日も楽しみました。



14日 【花火大会】

雨で1週延期となりましたが、玄関前で打ち上げ花火を行い、夏を満喫しました。

24日 【花壇ボランティア】

富士見丘小中学校の生徒さんと保護者の方々が、花壇の水やりのお手伝いをしていただきました。

9月

11日 【敬老祝賀会】

昼食は豪華なお祝い膳を召し上がり、午後からは、節目のお年の方々の式典を行い、恒例のスライドショーも上映しました。石黒サンペイさんによるマジックショーや曲芸をご披露いただき、盛り上がりしました。



(徳増)

松風園 (軽費老人ホーム)

7月

7日 【七夕】

食堂と浴室前に笹を準備して短冊の願い事や、皆様が作った七夕飾りも飾りつけ、華やかな七夕となりました。

30日 【開園記念日】

62周年となりました。昼食では特別メニューを召し上がっていただき、皆様から今日のご飯はおいしいと喜んでいただきました。また、和楽らんどによる、琴の演奏もあり楽しみました。

8月

2日 【納涼祭】

今年はゲームや和太鼓、盆踊りが復活し、職員も浴衣に身を包み、夏祭りを楽しんでいただきました。



お食事も焼き鳥や焼きそば、ビールや酎ハイなど夏祭りを感じるメニューをご用意し召し上がっていただきました。

9月

13日 【敬老祝賀会】

今年度のお祝いの方は米寿が10名様、喜寿が3名様でした。対象者の方にはお祝いのお花で飾った会場で、お祝いの記念品のお渡しと写真撮影をしました。
昼食ではお祝い用の特別メニューを召し上がっていただきました。



(河向)

浴風会ケアハウス

7月

5日【七夕メニュー】

ご利用者と作った七夕飾りを笹に飾りつけ彩鮮やかな笹になりました。昼食にはそうめん七夕を演出しました。

24日【納涼会】

焼きそば、唐揚げ、たこ焼き、かき氷、すいか、初登場のクレープも好評でした。お代わりありでたくさん召し上がっていただきました。景品ありのストラックアウトゲームにも多くのご利用者が参加してくださいました。

8月

22日【スペシャルデザート】

昼食はデザート食べ放題でした。ロールケーキとアイス2種、白玉あんこのデザート盛り合わせをご用意しました。

9月

13日【敬老祝賀会】

鰻の炊き込みご飯、天ぷらで彩も鮮やかなお膳と紅白鰻頭等華やかなお食事でお祝いをしました。

◆入居説明会について

今年度開催分は定員となりました。次年度については3月頃ホームページにてお知らせいたします。

(尾滝)



【介護保険事業】

南陽園（特別養護老人ホーム）

7月

7日【七夕祭り】

今年も近隣の方のご厚意で笹を譲っていただき、利用者の皆様それぞれ願いを込めた短冊や輪飾りを飾りました。

8月

1日【南陽園花火大会】

連日の猛暑で利用者の皆様が体調を崩さないか心配でしたが、当日は適度に風が吹き比較的過ごしやすく、花火を見ながら、夏の一時を楽しむことができました。

8～9月【夏祭り】

各フロアで「夏祭り」を開催しました。職員の浴衣姿に喜ばれ、カキ氷や綿あめを召し上がって、楽しまれました。

9月

16日【敬老祝賀会】

「敬老祝い会」として午前に各フロアで式典を行い、午後は「飛鳥連」様による阿波踊りを楽しむことができました。今年度は106歳の方を筆頭に100歳以上のご長寿の方が8名いらっしゃいます。

(宮岡)



南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

7月

7日【七夕】

七夕の短冊に願いを込めて飾りつけや短冊作りを行いました。

「家族みんなで元気に暮らせますように」と書かれた短冊も。皆様の願いが叶いますように。

8月

今年は猛暑が続きましたが、暑さに負けず、皆様体操や脳トレなどお元気に頑張っておられました。

9月

16日【敬老祝賀会】

敬老の日には、阿波踊りの方々に来てくださり迫力ある踊りを披露してくださいました。間近に見る踊りに皆様感激され、涙を流される方もいらっしゃいました。最後は踊り子さんたちと握手。素敵な敬老の日になりました。

◆デイサービスご利用を検討中の方は、ぜひお気軽にお問合せ下さい。

見学も随時お受けしております。
電話・03-3334-2743

(扇野)



第二南陽園（特別養護老人ホーム）

7月

7日【七夕】

大きな笹に願い事を書いた短冊や、折り紙で作った七夕かざりを飾りました。

17日【クッキング☆カフェ】

今月は中華風メニューが登場。マンゴープリンと肉まんを作りました。生クリームでデコレーションしたマンゴープリンに「おしゃれで可愛いわね」「甘くておいしいわ」とお話されていました。

8月

19日【納涼祭】

フロアでヨーヨー釣り、綿あめ、かき氷、ソフトクリーム、から揚げ、射的などの模擬店を用意して、お好きなものを食べながら、大きなシャボン玉や南京玉すだれを觀賞され、直径50センチを超える大きさのスイカ割りでは、大きな歓声や拍手が響きわたりました！職員も浴衣に着替えていつもと違う素敵な一日になりました。

9月

16日【敬老祝賀会】

ご利用者の皆様の健康と長寿を祈念してお祝い会を開催しました。阿波踊り「さざんか連」の皆様が来園され、盛大に披露していただきました。「きれいなね。楽しいわ」、子供踊りを観て「かわいい。もっと観たいわ。」と大好評でした。

(谷口)



第三南陽園(特別養護老人ホーム)

7月

7日【七夕祭り】

今年もご利用者が手作りの短冊や飾りを一緒に作り、笑顔で願い事を書かれる姿はとても素敵でした。「いいことがあるといいわね」と楽しいひとときを過ごしました。

8月

9日【阿佐谷七夕まつり】

今年も第三南陽園ご利用者と職員で心をこめて作った「はりぼて」を出品しました。今年の作品はご利用者と相談のうえ、子供から高齢者までお馴染みの「ドラえもん」に決めました！

園ではこの時期を迎えると、飾られているはりぼてを見に行くことが夏の風物詩となっています。

商店街では人気のメニューや名物の老舗の味を堪能して、

「念願のあんず飴を食べれて嬉しかった」

「久しぶりに買いたい物が出来て良かった」など好評で、皆さまが

とても楽しまれている姿が印象的でした。

9月

16日【敬老祝賀会】

澤田園長よりご長寿の方々にお祝いのメッセージと感謝状を贈らせていただきました。皆さまこれからも末永くお元気で過ごしてください。



(佐々木)

グループホームひまわり

7月

7日【七夕】

手作りの七夕飾りと願いを込めた短冊を皆様で飾り付けしました。

31日【ミニ縁日】

綿あめ・かき氷・ヨーヨー釣り・お菓子のつかみ取りなどの出店を用意し、お祭りの雰囲気を楽しんで頂きました。



8月

15日【すいか割り大会】

毎年恒例のすいか割り大会を行いました。「せーのーよいしょ！」と元気の掛け声に合わせて、順番にスイカを叩いて頂きました。

20日【餃子パーティー】

皆さん慣れた手つきであつという間に200個の餃子が出来上がり、お昼に美味しく頂きました。

31日【夏祭り】

やきそば・焼とうもろこし・唐揚げ・枝豆・ポテトなどを作り、屋台風のバイキング形式で、好きな物を召し上がって頂きました。

9月

16日【敬老祝賀会】

豪華なお祝い膳と紅白饅頭で、皆様のご長寿をお祝いしました。

(阿部)

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

7月

1日 いちの会

10日 高井戸小認サポ養成講座

上高井戸端

11日 地域ケア会議、かりん

17日 高井戸民協

18日 ケアマネジメント支援会議

事業者連絡会

22日 高井戸エリア会議

介護者の会連絡会

24日 スマホサロン

25日 認知症サポーター養成講座

26日 ロビーカフェ

27日 大人塾

8月

14日 上高井戸端

15日 ケアマネジメント支援会議

22日 事業者幹事会

23日 ロビーカフェ

28日 スマホサロン

9月

2日 いちの会

10日 ゆうゆう高西館協働事業

12日 かりん

18日 高井戸民協、上高井戸端

19日 宮前民協

25日 スマホサロン

26日 ゆうゆう上高館協働事業

27日 ロビーカフェ

(目時)

【病院事業】

浴風会病院

7月

★協会けんぽの健康診断受付中です

健保協会加入の方の生活習慣病予防

検診の申し込みを受け付けております。

お手元に保険証をご用意いただき、

お電話にてお申し込みください。

★選定医療費は不要です

浴風会病院では紹介状・選定医療費

なしでご受診いただけます。選定医療

費制度は入院病床数200床以上の病

院が対象で、当院は199床のため紹

介状を持参されなくても選定療養費を

ご負担いただくことはありません。予

約不要の初診外来をご受診ください。

★無料定額診療事業のご案内

浴風会病院では経済的な理由で必要

な医療を受ける機会が制限されること

が無いように法律に基づき、無料また

は低額な料金で診療を行っています。

詳しくはお電話にてご相談ください。

代表電話…03-3333-6511

(戸塚)



老健くぬぎ (介護老人保健施設)

7月

5日、6日、8日 【七夕】

各フロアに七夕の飾りつけをし、夏の風物詩を満喫して頂きました。

昼食は「七夕そうめん」

おやつとの和菓子は「願いの星」を食べて頂き、ご利用者の皆様が作成した短冊を紹介しました。「健康が一番」、「家族と過ごすのが幸せ。」の願い事が多く、改めて、健康と家族が何よりの幸福だと感慨深く七夕まつりは終了しました。

8月

5～7日 【納涼祭】

パリオリンピックで日本選手がメダルを取るなか、納涼祭が行われました。競技ならぬ「射的」「輪投げ」などの昔の遊びから、わたがし・かき氷、職員によるアコースティックライブと夏の風物詩で夏を満喫して頂きました。ご利用者の皆様からは、「楽しかったよ」と満面の笑顔を頂きました。



9月

13日 【敬老祝賀会】

長年にわたり社会に尽くしてきた皆様のために、長寿を祝う会を開催しました。午前中は、施設長からの祝辞やお祝いの色紙・お花をプレゼント。お祝い膳の昼食後からは、ボランティアグループ「共生すぎなみ委員会」によるコンサートを行い、ご利用者と一緒に唄を歌い、敬老会を盛り上げて下さいました。

★ご利用のご相談など、お問合せは随時受け付けております。相談員までお気軽にご連絡ください。

◎03-5336-7701【代表】
◎03-5336-7734【入所】 (辰巳)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

7月

5日 センター研究推進会議

8日 運営会議

19日 センター研究推進会議

29日～8月2日 第1回 認知症介護指導者養成研修 (後期)

8月

2日 第1回 認知症介護指導者養成研修修了式

5日 3センター長会議 (Zoom)

9日 東京センター運営協議会・評価委員会

19日 運営会議

30日 センター研究推進会議

30日 コンプライアンス研修 (個人情報保護関係)

9月

2日～13日 第2回 認知症介護指導者養成研修 (前期)

20日 センター研究推進会議

27日 説明会 (36協定、契約職員関係)

27日 厚生行政研修会

30日 令和6年度 認知症介護実践者等養成事業にかかわる行政担当者連絡会

30日 杉並区連携会議 (9月)

(竹井)

浴風会 フォトギャラリー

浴風会の動きでは紹介しきれなかった、素敵な写真をご紹介いたします。



創立100周年記念事業

支援募金のお願い

社会福祉法人浴風会は、令和7(2025)年1月15日に創立100周年を迎えることとなりました。

当会は緑豊かで広大な敷地が広がる中にあり、創設時より「憩いの場」「交流の場」として施設利用者の皆様や地域の皆様に愛され、活用されてきました。

この先も皆様に快適に過ごしていただけるよう、構内の環境を整備・充実し、併せて地域のための災害時支援用備品等の整備を目的とする「記念事業」を計画しました。

右の趣旨をご理解いただき、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

詳しくは、浴風会ホームページを御覧下さい。
<https://www.yokufukai.or.jp>

《次回は発行予定令和6年1月新年号》
〒168-8510※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

sounu2@yokufukai.or.jp

<https://www.yokufukai.or.jp>